

若者部門 第3回

【対象】高校生以上22歳以下の市民 【参加者】32人のうち23人(うちリモート参加2人)
【期日】1月12日(木) 【会場】なはんプラザ

テーマ「自分たちでできること・やってみたいこと・大人世代に助けてほしいこと」

- 若者が主催したり、活躍できたりするイベント
- インターネットを安全に使うための講習をしてほしい
- 光るものを身に付けて、自分で交通安全の意識を持つ
- シャッター街を明るくするために、若者がSNSなどで寄付金を集めたりする
- まつりに観客や運営として参加する、受け継ぐ
- 自分たちが花巻について理解を深める、PRする

参加者アンケートより
若者の活気が素晴らしい花巻大スキです。



参加者アンケートより
あっという間で少し寂しいですが、ご縁があればまた参加したいと思っています！



～相談支援と経済的支援を一体的に実施します～ 花巻市出産・子育て応援交付金



市では、すべての妊婦の人や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、保健師や助産師が一人一人に寄り添い、切れ目のない支援の充実を図ります。また、出産・子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、出産・子育て応援交付金を交付する事業を開始します。

■対象 令和4年4月1日以降に出生または妊娠の届け出をした市内在住の人

※すでに出生または妊娠の届け出が済んでいる人には1月末から順次、本事業に関する文書をお送りしています

■支援の内容

①伴走型相談支援の実施

▶妊娠届出▶妊娠8カ月前後▶赤ちゃん訪問(生後2カ月前後)一の時期に、本人の体調やご家族の様子、子育てに関する不安や悩みなどについてのアンケート調査を行います。その回答結果に基づいて、保健師または助産師と面談を行い、出産・子育ての今後の見通しが立てられるよう支援します。

②出産・子育て応援交付金の交付

①の支援を受けた人を対象に、下記の交付金を交付します。

- 出産応援交付金…妊婦1人当たり5万円
- 子育て応援交付金…子ども1人当たり5万円
- *…交付金の対象者には個別に申請書などをお送りします

※詳しくは市ホームページ(https://www.city.hanamaki.iwate.jp/kosodate_kyoiku/ninshin_syussan/1017715.html)をご覧ください



市ホームページ

【問い合わせ】健康づくり課(〒025-0055 南万丁目970-5 ☎41-3609)

「第2次花巻市まちづくり総合計画」の策定に向けた取り組み ～まちづくり市民ワークショップが最終回を迎えました～



市では、令和6年度から始まる第2次花巻市まちづくり総合計画の策定に向け、まちづくり市民ワークショップを開催してきました。この度、1月11日(水)開催の一般部門第7回、12日(木)開催の若者部門第3回をもちまして、両部門とも最終回を迎えました。

令和4年7月の開始以降、新しいまちづくり総合計画に掲げる将来の花巻市の姿について、真剣に議論を交わしてきた参加者の皆さん。世代や立場の違いはあっても、それを理解し生かし合いながら議論を交わし、将来のまちのありたい姿をチームでまとめました。

最終回ではこの理想のまちの姿を実現するため、自分たちなら何ができるか、まず何から取り組みたいかを考え、グループごとに共有しました。その後全員が自由に会場内を見て回り、共感する意見にはふせん用紙やシールで意思表示。一人一人が共にまちづくりを担う主役であることを確認しました。

参加者の皆さんから頂いた貴重なご意見と、アンケート調査や市内関係団体との意見交換などで寄せられたご意見を取り入れながら、市では今後新しいまちづくり総合計画の本格的な策定作業を進めていきます。

長期間にわたりお力添えをいただいた参加者の皆さんに、改めて御礼を申し上げます。

*まちづくり市民ワークショップの各回の内容についてはニュースレターを市ホームページ(<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/shisei/keikaku/1017066.html>)で公開しています



まちづくり市民ワークショップをはじめ、本年度行った新しいまちづくり総合計画に関する市民参画全体のまとめは、広報はなまき2月15日号でお知らせします。

各部門のワークショップの様子を一部ご紹介します

一般部門 第7回

【対象】23歳以上の市民 【参加者】39人のうち29人 【期日】1月11日(水) 【会場】なはんプラザ

テーマ「一人一人がいまできることを考えよう」

- 普段から花巻のものを買ったり利用したりする
- 年に一度は地域の行事に参加する
- 市の取り組みを情報収集したり、若者の活動を支援したりする
- 「子育て」への意識改善(男性が女性を「手伝う」のではなく、「一緒に育てる」意識を広める)
- 地域の歴史などさまざまなことに興味や関心を持ち、参加する
- 助け合いの精神を持ち、日頃からあいさつをする

参加者アンケートより

参加したことで新しいつながりもでき、貴重な経験になりました。一市民としてできることを積極的に行動していきたいと思っています。



※会場では感染症対策を行い、写真撮影時のみマスクを外しています